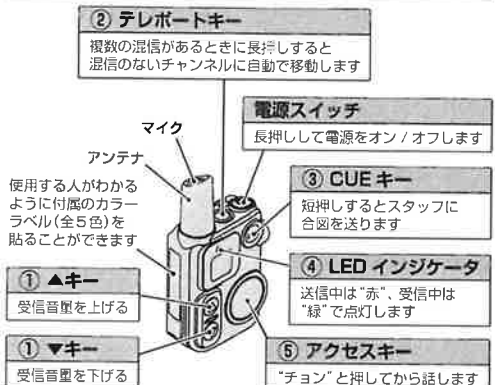


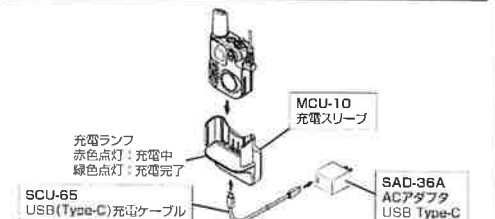
各部の名前と名称



イヤホンを接続する



充電する (充電時間は約3時間)



お買い上げ後そのまますぐに使えます

電源を入れて音量を調節、あとはアクセスキーを押して話すだけです



各部の名前と機能

① ▼ / ▲ キーの操作

	▼キー	▲キー
音量を調節する	小さくなります	大きくなります
設定モードの時	設定する項目を [▼]/[▲] キーで選び [テレポート] キーを短押しします → [▼]/[▲] キーで設定を変更して [テレポート] キーを短押しして決定します	

② テレポートキーの操作

1つのグループで使うモードの時	長押し → 複数の混信がある時にテレポート動作でチャンネル自動変更
2~4グループで使うモードの時	短押し → 別のグループへ移動します

③ CUE キーの操作

1つのグループで使うモードの時	短押し → CUE 機能でスタッフ全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます
	短押し → CUE 機能で同じグループ内のスタッフ全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます
2~4グループで使うモードの時	長押し → マージ機能が動作しアクセスキーを押して話すと全てのグループ全員と連絡が取れます。もう一度長押しすると各グループごとの通話に戻ります

④ LED インジケータ

緑点灯: 受信
緑点滅: グループモード設定、各種機能の設定を変更中
赤点灯: 送信中
・エアクロニデータ転送中
オレンジ点灯: マージ (MERGE) 機能で送信中
赤と緑の点滅: エリアリサーチ機能動作中
赤の点滅: 他のスタッフが話しているために送信できないとき

⑤ アクセスキーの操作

送信する時に“チョン”と押します (ワンクリックハンズフリー)

話している間は送信を続け、話のをやめると自動で受信に戻ります

- 話をやめると周りが騒がしくて受信に戻れないときは、もう一度“チョン”と押すと受信に戻ります
- 押し続けたま話をすることもできます。この場合は放すとすぐに受信に戻ります。周りが騒がしくてとも確実に受信に戻ります

使用中に電池が少なくなると“ビビビビビ”というアラーム音で知らせます

残り約1時間	残り約30分	残り約5分	点滅
10分間隔で“ビビビビビ”と鳴ります	2分間隔で“ビビビビビ”と鳴ります	30秒間隔で“ビビビビビ”と鳴ります	3回続けて“ビビビビビ”と鳴ると電源が切れます

便利な機能

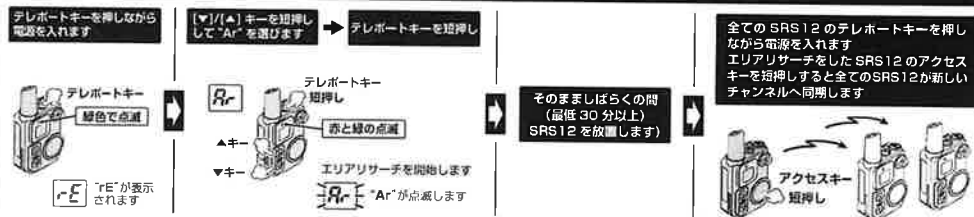
① 声を出さなくてもスタッフに合図キュー (CUE) 機能

接客中でも CUE キーを短押しするだけで接客相手にわからないようにスタッフに合図を送ることができます



CUE 機能のビープ音、種類を変更することができます (別紙参照)

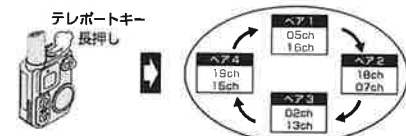
③ 繁華街ではあらかじめ混信の少ないチャンネルを自動で探すことができます エリアリサーチ機能



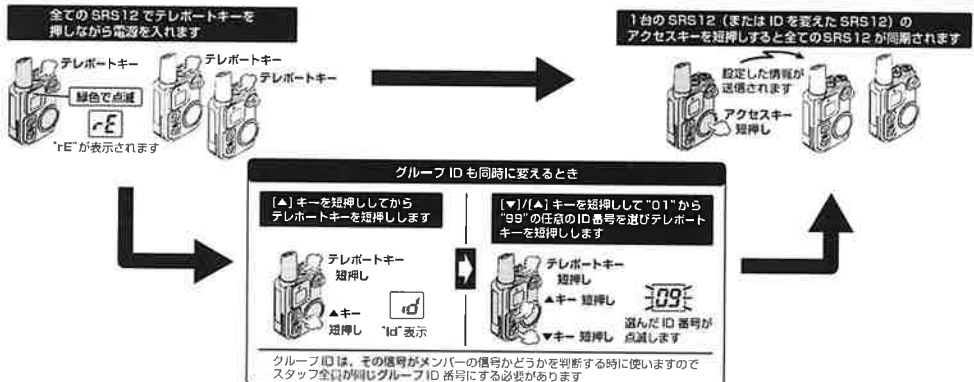
④ 自動混信回避機能でも混信があるときは“テレポート機能”を使います

アクセスキーを押してもLEDが赤色で点滅して送信できないときは05chと16chの両方に混信があると考えられます
この場合は1台のテレポートキーを長押しすれば、グループ全員が自動で別のペアチャンネルへ移動します

ペアチャンネル (組み合わせ) は4種類あり、テレポートキーを長押しするたびにスタッフ全員のペアチャンネルが自動で移動します



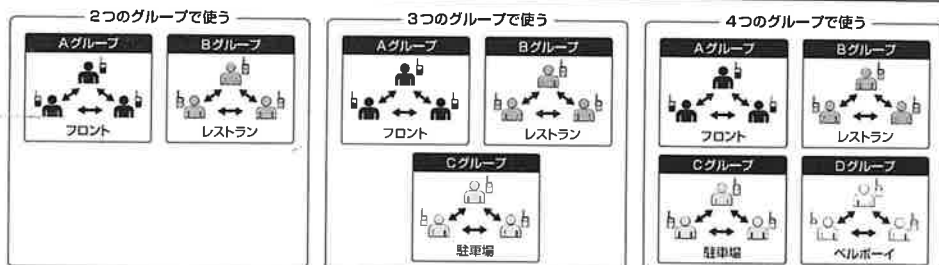
⑤ 通話ができなかったりグループ以外の通話が聞こえるときはエアクロニで同期をし直します



複数のグループで使うときはグループモード

複数のグループが別々に連絡を取り合う業務に最適なモードです

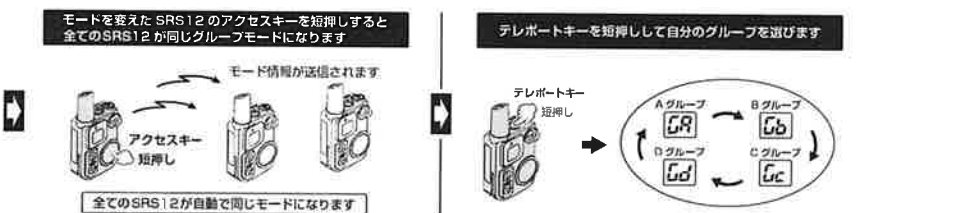
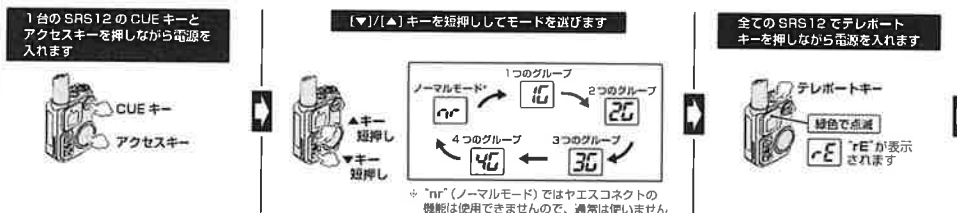
例えばホテルのフロント係は“Aグループ”、レストランは“Bグループ”、駐車場係は“Cグループ”、ベルボーイは“Dグループ”のように設定して、グループに分かれて連絡を取り合うことが可能です



グループモードの設定のしかた

グループの数に合わせて運用モードを“2グループ”“3グループ”“4グループ”から選びます

運用モードは始めに設定を行えば、その後は変更する必要はありません



設定が終わったらそのまますぐに使えます

電源を入れて音量を調節、あとはアクセスキーを押して話だけです



- アクセスキーを“チョン”と押してからマイクに向かって話します。話すのをやめると自動で受信に戻ります。
- 話すのをやめると周りが強がしく受信に戻らないときは、もう一度“チョン”と押すと受信に戻ります。
- 話している間押し続けられ、放すと確実に受信に戻ります。
- 他の人が話している時は、アクセスキーを押しても送信できません。

グループモードで便利な機能

① 声を出さなくてもスタッフに合図キュー(CUE)機能

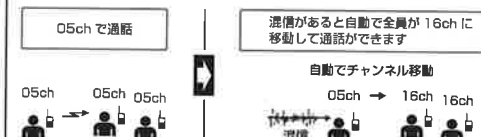
接客中でも CUE キーを短押しするだけで接客相手にわからないようにスタッフに合図を送ることができます



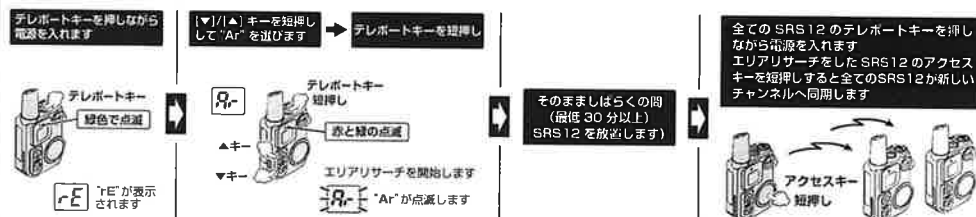
CUE 機能のビープ音量、種類を変更することができます (別紙参照)

② 自動混信回避機能

混信があると瞬時に混信のないチャンネルへ自動で移動しますので、そのまま通話を行うことができます



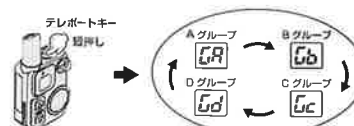
③ 繁華街ではあらかじめ混信の少ないチャンネルを自動で探すエリアリサーチ機能



④ グループ間を簡単に移動することができます

テレポートキーを短押しするたびに A グループ～D グループが順番に切り替わります (4 グループの場合)

選んだグループのスタッフとだけ通話ができます



⑤ マージ機能で 全てのスタッフと連絡が可能

普段はグループ内だけで連絡を行いますが、緊急時は CUE キーを長押しすると、グループ間の垣根をなくして全てのスタッフと連絡を取り合うことができます

1. CUE キーを長押しします → “AL” の表示になったら放します
2. アクセスキーを押して話すと、全てのグループ全員と連絡がとれます
3. 再び CUE キーを長押しすると、各グループごとの通話に戻ります



SRS12 ノーマルモード

ヤエス コネクト ライトの機能を持たない
トランシーバーと通話するとき

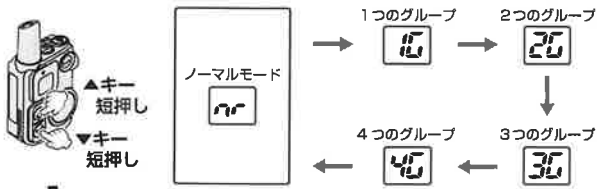
ノーマルモードで運用する場合は、始めにグループ内の全ての SRS12 の運用モードを“ノーマルモード”に変更してください
ヤエス コネクト ライトの機能は使えません

ノーマルモードにする

1台のSRS12でCUEキーとアクセスキーを押しながら電源を入れます



[▼]/[▲] キーを短押しして“nr”を選びます



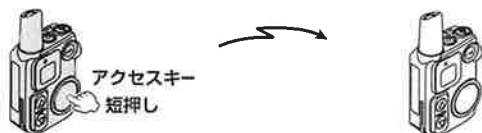
以下の手順でエアクローンをします

他の SRS12 でテレポートキーを押しながら電源を入れます



アクセスキーを短押しします

ノーマルモードになります



通話するチャンネルの換えかた

チャンネルは 01 ~ 20 から選択することができます

通話する相手も同じチャンネルにしてください

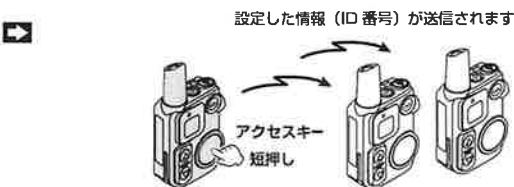
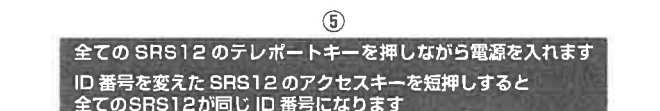
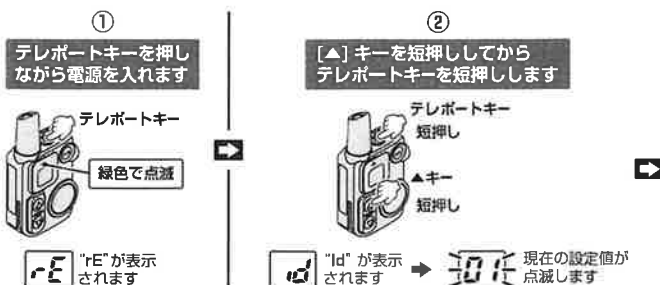
1. テレポートキーを一長押しします
2. [▼]/[▲] キーを短押ししてチャンネルを選びます
3. テレポートキーを長押しまたは約3秒間放置すると完了です



グループ以外の通話が聞こえるときは グループ ID を変える

- ・グループ ID は、その信号がメンバーの信号かどうかを判断する時に使いますので、メンバー全員が同じグループ ID 番号にする必要があります
- ・工場出荷時はグループ ID を使わない設定 (oF) になっています
- ・グループコード番号が異なる他のグループの信号はミュートになり聞こえません

1台のグループ ID を変更してから全ての SRS12 をエアクローンで新しいグループ ID に同期します



通話エリアを拡大する（中継器 EXR100A を使用する）

中継用チャンネルをえるようにする

1. CUE キーを押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして“16”を選びます
3. テレポートキー短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押しして“on”を選びます
5. テレポートキーを短押しします
6. アクセスキーを短押しします
7. 自動で電源がオフ → オンになり、中継用チャンネルが使用できるようになります



中継器のチャンネルにあわせる

1. テレポートキーを長押しします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして中継器で使用するチャンネルにあわせます
下記の「中継器とのチャンネル互換表」を参照してください
3. テレポートキーを長押しまたは約3秒間放置すると完了です



中継器を使わない設定に戻す

左記の「中継用チャンネルをえるようにする」と同じ操作を行い手順4で“oF”を選びます

中継器とのチャンネル互換表

SRS12 と中継器 “EXR100A” では、中継用チャンネルの表示が異なりますので、下表を参考にしてあわせてください

SRS12	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
EXR100A	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	10	11	12	13	14	15	16	17	18

EXR100A および PSU10 は工場出荷時に、受信音の「サー」というバックノイズを軽減する“コンパング機能”がオンになっていますので SRS12 も“コンパング機能”をオンにしてください。オフのままだと音声聞き取りにくくなります
設定方法は最終ページの“ノーマルモードの全体設定”に記載の“コンパング”（設定画面表示 19）を“on”にしてください

EXR100A / PSU10 とのグループ ID 互換表

SRS12 と中継器 “EXR100A”、構内アナウンス用ワイヤレススピーカー “PSU10” では、グループ ID の表示が異なりますので、グループ ID を設定の際には下表を参考にして設定してください

EXR100A	PSU10	SRS12 (ノーマルモード)
01	—	01
02	—	02
03	—	03
04	—	04
05	—	05
06	—	06
07	—	07
08	—	08
09	—	09
10	—	10
11	—	11
12	—	12
13	—	13
14	—	14
15	—	15
16	—	16
17	—	17
18	—	18
19	—	19
20	—	20
21	—	21
22	—	22
23	—	23
24	—	24
25	—	25
26	—	26
27	—	27
28	—	28
29	—	29
30	—	30
31	—	31
32	—	32
33	—	33
34	—	34
35	—	35
36	—	36
37	—	37
38	—	38
39	—	39
40	—	40
41	—	41
42	—	42
43	—	43
44	—	44
45	—	45
46	—	46
47	—	47
48	—	48
49	—	49
50	—	50
51	01	51
52	02	52
53	03	53

EXR100A	PSU10	SRS12 (ノーマルモード)
54	04	54
55	05	55
56	06	56
57	07	57
58	08	58
59	09	59
60	10	60
61	11	61
62	12	62
63	13	63
64	14	64
65	15	65
66	16	66
67	17	67
68	18	68
69	19	69
70	20	70
71	21	71
72	22	72
73	23	73
74	24	74
75	25	75
76	26	76
77	27	77
78	28	78
79	29	79
80	30	80
81	31	81
82	32	82
83	33	83
84	34	84
85	35	85
86	36	86
87	37	87
88	38	88
89	39	89
90	40	90
91	41	91
92	42	92
93	43	93
94	44	94
95	45	95
96	46	96
97	47	97
98	48	98
99	49	99
100	50	未対応
101	51	未対応
102	52	未対応
103	53	未対応
104	54	未対応
105	55	未対応
106	56	未対応

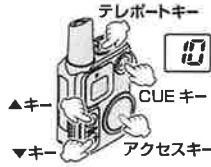
EXR100A	PSU10	SRS12 (ノーマルモード)
107	57	未対応
108	58	未対応
109	59	未対応
110	60	未対応
111	61	未対応
112	62	未対応
113	63	未対応
114	64	未対応
115	65	未対応
116	66	未対応
117	67	未対応
118	68	未対応
119	69	未対応
120	70	未対応
121	71	未対応
122	72	未対応
123	73	未対応
124	74	未対応
125	75	未対応
126	76	未対応
127	77	未対応
128	78	未対応
129	79	未対応
130	80	未対応
131	81	未対応
132	82	未対応
133	83	未対応
134	84	未対応
135	85	未対応
136	86	未対応
137	87	未対応
138	88	未対応
139	89	未対応
140	90	未対応
141	91	未対応
142	92	未対応
143	93	未対応
144	94	未対応
145	95	未対応
146	96	未対応
147	97	未対応
148	98	未対応
149	99	未対応
150	—	未対応
151	00	未対応
152	—	未対応
153	—	未対応
154	—	未対応
155	—	未対応
156	—	未対応
157	—	未対応
158	—	未対応

メインとセカンドの2つのチャンネルを使用する

メインチャンネル“Ach”とセカンドチャンネル“bch”のどちらのチャンネルでも送信・受信をすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして“10”を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押しして“Pt”を選びます
5. テレポートキーを短押しします
6. アクセスキーを短押しします
7. 自動で電源がオフ → オンになり、2つのチャンネルで送受信ができるようになります



受信時のビーブ音で、メイン/セカンドどちらの信号かを判別

- ・メインチャンネルの信号を受信した時 → ブッ
- ・セカンドチャンネルの信号を受信した時 → ブブッ

送信のしかた

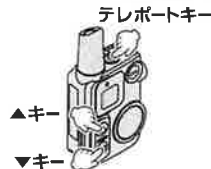
- ・メインチャンネルで送信 → アクセスキーを押す
- ・セカンドチャンネルで送信 → CUE キーを押す

メインとセカンドのチャンネルを変更する

工場出荷時は、メインチャンネルの“Ach”には“01”チャンネル、セカンドチャンネルの“bch”には“06”チャンネルが設定されていますが、それぞれのチャンネルを01～20の中から選んで変更することができます

変更方法

1. [▼]と[▲]キーを同時に押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲]キーを短押しして変更したいチャンネル“A”または“b”を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]/[▲]キーを短押ししてチャンネルを選びます
5. テレポートキーを短押しします
6. 一度電源をオフにします



変更したチャンネルをエアクローンで同期する

全てのSRS12でテレポートキーを押しながら電源オン

チャンネルを変えたSRS12のアクセスキーを短押し



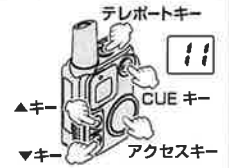
アクセスキーを押した時の動作を変える

工場出荷時は、アクセスキーを“チョン”と押すだけで送信がスタートして、話をしている間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻る“ワンクリックハンズフリー”になっています

この動作を、アクセスキーを押している時だけ送信し、放すと受信に戻るようにしたり、“連続送信”や“受信専用（送信禁止）”にすることができます

変更方法

1. CUE キーを押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして“11”を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押しして動作を選びます（下表参照）
5. テレポートキーを短押しします
6. アクセスキーを短押しします
7. 自動で電源がオフ → オンになり、設定は完了です



キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります
周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします → L1

キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります（工場出荷時の設定） → L2

キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります
話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします → L3

キーを押し続けたまま話すこともできます、この場合は放すとすぐに受信に戻ります → Pt

キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます → ct

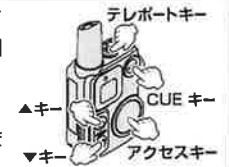
キーを押しても送信しません。受信専用になります → of

マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時に、マイクの感度を変えることができます

変更方法

1. CUE キーを押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押しして設定を変えます
5. テレポートキーを短押しします
6. アクセスキーを短押しします
7. 自動で電源がオフ → オンになり、設定は完了です



◎ 内蔵マイクの感度を設定する → 08 で設定します

マイク感度は L1 ↔ L2 ↔ L3 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“L2”に設定されています

◎ 外部マイクのマイク感度を設定する → 09 で設定します

マイク感度は L1 ↔ L2 ↔ L3 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“L2”に設定されています

ノーマルモードの全体設定

19種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

①

CUE キーを押しながら電源を入れます

CUE キーを押しながら電源スイッチを押して電源を入れます



設定項目が表示されます 例 **01**

②

[▼] または [▲] キーを短押しして設定する項目を選びます

短押し (+方向) ▲キー
短押し (-方向) ▼キー



例 **07**

③

テレポートキーを短押し

短押し



現在の設定が点滅します **12**

④

[▼] または [▲] キーを短押しして設定値を変えます

短押し (+方向) ▲キー
短押し (-方向) ▼キー



⑤

テレポートキーを短押しすると設定を確定します

短押し



⑥

アクセスキーを短押しすると設定は完了です

自動で電源がオフ → オンになります

短押し

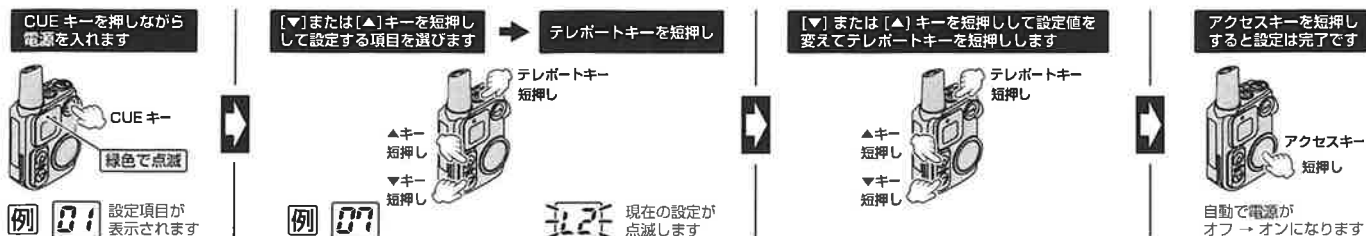


機能項目	出荷時の設定	機能
CUE ビープ音		
画面表示 01	L3	L1 L2 L3 oF 音量小 → 音量大 音量オフ
CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択することができます		
CUE のビープ音を変える		
画面表示 02	R	R b c 好みにあわせて 3 パターンから選択することができます
CUE 信号を受信した時に鳴るビープ音を好みに合わせて選択することができます		
受信ビープ音		
画面表示 03	L2	L1 L2 L3 oF 音量小 → 音量大 音量オフ
受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択することができます。(通常はオンにしておき、相手の通話の始めと終わりをビープ音で確認できます)		
送信ビープ音		
画面表示 04	L2	L1 L2 L3 oF 音量小 → 音量大 音量オフ
送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択することができます		
受信ビープモード		
画面表示 05	RL	RL : 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります bE : 相手の通話を受信開始した時にだけビープ音が鳴ります En : 相手の通話が終了した時にだけビープ音が鳴ります oF : ビープ音は鳴りません
受信時に相手の通話開始・終了を確認するビープ音をオフにすることができます		
送信ビープモード		
画面表示 06	En	RL : 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります bE : 送信を開始した時にだけビープ音が鳴ります En : 送信が終了した時にだけビープ音が鳴ります oF : ビープ音は鳴りません
送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます		
キービープ音		
画面表示 07	L2	L1 L2 L3 oF 音量小 → 音量大 音量オフ
トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択することができます		
内部マイク感度		
画面表示 08	L2	L1 L2 L3 感度小 → 感度大
相手から「声が小さい」と言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます		
外部マイク感度		
画面表示 09	L2	L1 L2 L3 感度小 → 感度大
外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます		
CUE キー長押し機能		
画面表示 10	oF	oF : 長押しと同様に、CUE (キュー) 機能でスタックに合図を送ります Pe : アクセスキーを押すと「メインチャンネル (Ach)」で送信、CUE キーを押すと「セカンドチャンネル (bch)」で送信します PR : 当社の EXR100A や PSU10 の PA 機能搭載機へ送信して、橋内アナウンスをおこなうことができます。送信はメインチャンネル (Ach) で行います Pb : 橋内アナウンスをおこなうときに、他のトランシーバーからは音は出さずに EXR100A や PSU10 のスピーカーからだけ音を出します。送信はセカンドチャンネル (bch) で行います
CUE キーを長押しした時の動作を設定します		

機能項目	出荷時の設定	機能
アクセスキー動作		
画面表示 11	L2	L1 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります。静かな場所ですら適度に聞こえます L2 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話し終わる時に受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします L3 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話し終わる時に受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします Pe : キーを押しながら送信し、話し終わると放すと受信に戻ります Et : キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます oF : キーを押しても送信しません。受信専用になります
送話するときの動作を選択することができます		
CH 番号表示		
画面表示 12	on	on : チャンネル番号が表示されます oF : チャンネル番号の表示が消えます
チャンネル番号の表示を消すことができます		
スケルチレベル		
画面表示 13	L1	L1 L2 L3 : 設定値を大きくすると雑音は消えやすくなりますが弱い電波が聞こえなくなることがあります
雑音をカットする機能で、信号が無い時に頻りに「ザ、ザ」という雑音が耳障りなときは数字を大きくします		
設定内容転送		
画面表示 14	=	1. 設定を送る側と受ける側両方の SRS12 の設定項目を「14」にあわせませ 2. 両方の SRS12 のテレポートキーを短押しします (「E」の表示になります) 3. 設定を送る側のテレポートキーを短押しして「tr」の表示になったらアクセスキーを短押しします 4. コピーが終了すると、自動で電源オフ → 電源オンになります
全体設定の設定内容をグループ内の他の SRS12 にコピーすることができます		
秘話		
画面表示 15	oF	oF : 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) 1 2 3 : 秘話モードを使用する時に、どれかを選択します 通話するグループ全員が同じ数字に合わせてください
他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにいくことができます		
レピータ (中継器) 設定		
画面表示 16	oF	oF : 通常の通話 (交互通話) をする時に選びます on : 中継器を使用して中継通話を行う時に選びます
中継器を使用して通話エリアを拡大したり、電波の弱いエリアの通話を改善することができます。中継器の使用方法は、中継器の取扱説明書を参照してください		
ファスト接続機能設定		
画面表示 17	oF	oF : ファスト機能を使用しないで中継通話を行います on : ファスト機能が動作して、中継器との接続時間を短縮できます 当社のファスト機能対応中継器を使用して中継通話を行う時、中継器との接続時間を短縮できます。
ファスト機能を使用しないで中継通話を行います		
送信出力		
画面表示 18	h1	h1 : 連続して 3 分間送信すると一度 2 秒間受信状態になります。その後再び 3 分間連続送信できます (10mW 送信) Lo : 時間の制限が無く連続送信できます (1mW 送信)
中継器を使用した通話時の送信出力を選択することができます		
コンパンダ		
画面表示 19	oF	on : コンパンダ機能がオンになります oF : コンパンダ機能がオフになります
相手が話している時に聞こえる「サー」というノイズを低減し、相手の声を聞き取りやすくする機能をオン/オフすることができます		
出荷時リセット		
画面表示 rs (点滅)	-	1. 「rs」にあわせませ 2. テレポートキーを短押しします 3. 工場出荷時の状態に戻ります ※ リセットするとノーマルモードではなくヤエスコネクトライトのモードに戻ります
全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます		

全体設定

15種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます



機能項目	出荷時の設定	機能
CUE ビープ音量 画面表示 01	L3	L1 L2 L3 0F 音量小 → 音量大 音量オフ
CUE 信号を受信した時に鳴るビープ音の音量を選択することができます		
CUE のビープ音を変える 画面表示 02	R	R b c 好みにあわせて3パターンから選択することができます
CUE 信号を受信した時に鳴るビープ音を好みに合わせて選択することができます		
受信ビープ音量 画面表示 03	L2	L1 L2 L3 0F 音量小 → 音量大 音量オフ
受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択することができます。(通常はオンにしており、相手の通話の始めと終わりをビープ音で確認できます)		
送信ビープ音量 画面表示 04	L2	L1 L2 L3 0F 音量小 → 音量大 音量オフ
送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択することができます		
受信ビープモード 画面表示 05	RL	RL : 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります bE : 相手の通話を受信開始した時にだけビープ音が鳴ります En : 相手の通話が終了した時にだけビープ音が鳴ります 0F : ビープ音は鳴りません
受信時に相手の通話開始・終了を確認するビープ音をオフにすることができます		
送信ビープモード 画面表示 06	En	RL : 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります bE : 送信を開始した時にだけビープ音が鳴ります En : 送信が終了した時にだけビープ音が鳴ります 0F : ビープ音は鳴りません
送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます		
キービープ音量 画面表示 07	L2	L1 L2 L3 0F 音量小 → 音量大 音量オフ
トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択することができます		
内部マイク感度 画面表示 08	L2	L1 L2 L3 感度小 → 感度大
相手から「声が小さい」と言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます		

機能項目	出荷時の設定	機能
外部マイク感度 画面表示 09	L2	L1 L2 L3 感度小 → 感度大
外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます		
ホットライン機能 画面表示 10	0F	0n : CUE キーを押しながら話すと“ON”に設定したスタッフとだけ通話することができます 0F : ホットライン機能は動作しません
特定のスタッフとだけ通話することができます		
アクセスキー動作 画面表示 11	L2	L1 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります。静かな場所で使う場合に適しています L2 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話し終わるのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします L3 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話し終わるのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします Pt : キーを押して送信中のときだけ送信します。放すと受信に戻ります ct : キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます 0F : キーを押しても送信しません。受信専用になります
送話するときの動作を選択することができます		
CH 番号表示 画面表示 12	0n	0n : チャンネル番号が表示されます 0F : チャンネル番号の表示が消えます 2~4 グループモード時は、グループ名表示は消えません
チャンネル番号の表示を消すことができます		
スケルチレベル 画面表示 13	L1	L1 L2 L3 : 設定値を大きくすると雑音は消えやすくなりますが、弱い電波が聞こえなくなることがあります
雑音をカットする機能で、信号が無い時に頻りに「ザ、ザ」という雑音が耳障りなときは数字を大きくします		
設定内容表示 画面表示 14	-	1. 設定を送る側と受ける側両方のSRS12の設定項目を“14”にあわせませ 2. 両方のSRS12のテレポートキーを短押しします(“re”の表示になります) 3. 設定を送る側のテレポートキーを短押しして“tr”の表示が変わったらアクセスキーを短押しします 4. コピーが終了すると、自動で電源オフ → 電源オンになります
全体設定の設定内容をグループ内の他のSRS12にコピーすることができます		
秘話 画面表示 15	0F	0F : 秘話機能は動作しません(通常はこの状態で使います) 1 2 3 : 秘話モードを使用する時に、どれかを選択します 通話するグループ全員が同じ数字に合わせてください
他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにすることができます		
出荷時リセット 画面表示 15 (点滅)	-	1. “rs”にあわせませ 2. テレポートキーを短押しします 3. 工場出荷時の状態に戻ります
全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます		

マニュアルでチャンネルを変える (通常は変える必要はありません)

工場出荷時は、以下のチャンネルが割り当てられていますが、それぞれのチャンネルを01~20の中から選んで変更することができます

A1	A2	b1	b2	c1	c2	d1	d2	L
05	16	18	07	02	13	19	15	11

はじめに1台のチャンネルを変更する

- [▼]と[▲]キーを同時に押ししながら電源を入れます
- [▼]または[▲]キーを短押しして変更したいチャンネルを選びます
- テレポートキーを短押しします
- [▼]または[▲]キーを短押ししてチャンネルを変えて、テレポートキーを短押しします
- 電源を切ります
- 右記の“エアクローン”で、他のSRS12へ変更したチャンネルをコピーします



他のSRS12へ“エアクローン”で同期する

全てのSRS12でテレポートキーを押しながら電源を入れます

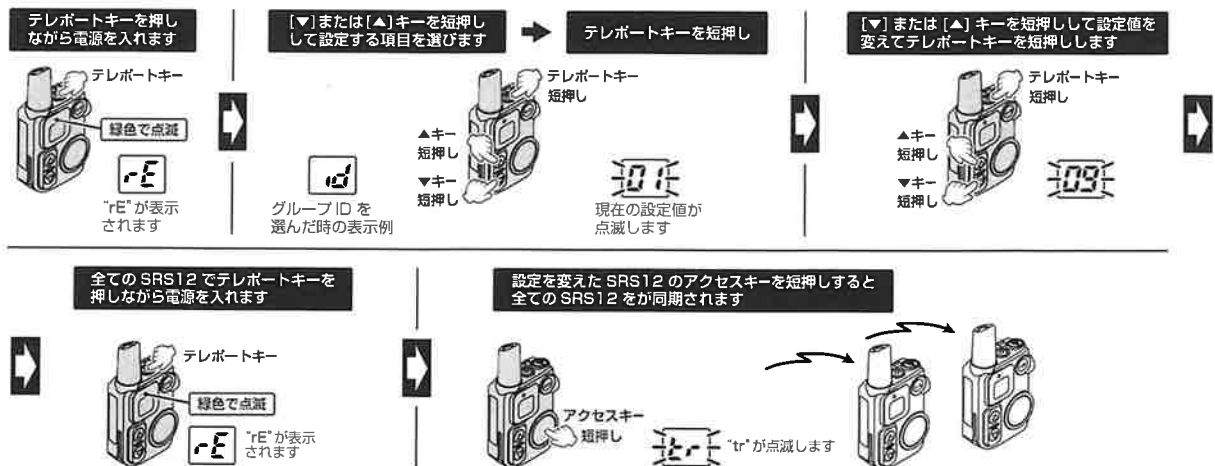
チャンネルを変えたSRS12のアクセスキーを短押しすると全てのSRS12が自動で同じチャンネルになります



全てのSRS12が同じチャンネルになります

必要に応じて各種設定を変更することができます（通常に変更する必要はありません）

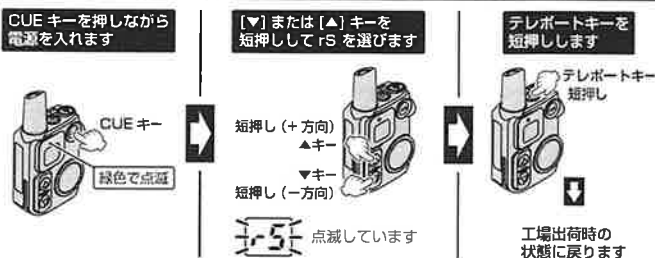
グループ内の全ての SRS12 の設定内容を同期したり、必要に応じて混信を気にせずに通信できる各種の設定を変更します
テレポートキーを押しながら電源を入れたら、設定モードになります



項目	出荷時の設定	機能
エアクローン 1 台の SRS12 で設定した内容を他の SRS12 にコピーすることができます	—	エアクローン受信待機 エアクローン送信 操作方は別紙に記載の「5. 通話ができなかったりグループ以外の通話が聞こえるときは困ったときに、もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直します」を参照してください
グループ ID 同じグループであることを識別する ID 番号です。ID 番号が違うと通話できません。他のグループが同じ ID 番号を使っていて混信が起る場合は、ID 番号を変えます	00 ~ 99 "00" ~ "99" の中から選びます	操作方は別紙に記載の「5. 通話ができなかったりグループ以外の通話聞こえるときは困ったときに、もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直します」を参照してください

項目	出荷時の設定	機能
テレポート送信 画面表示	ON 通常は ON で使用します	テレポートキーを長押しするとスタッフ全員の SRS12 が別のチャンネルグループに自動で移動します テレポートキーを長押ししてもテレポート機能は動作しません なお、他のスタッフがテレポート機能を動作させた場合は自分の SRS12 は別のチャンネルグループに自動で移動します
エリアリサーチ 画面表示	—	エリアリサーチ中（点滅） 操作方は別紙に記載の「エリアリサーチ機能」を参照してください

正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す（リセット）



アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします

八重洲無線株式会社
〒140-0013
東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F
TEL : 03-6404-6525
URL : <https://connect.yaesu.com>

- 保証期間はご購入の日より 3 年間で、お買い上げの日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります
- 内蔵電池は消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外です
- 内蔵電池の交換（有償）は、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください
- 本機を廃棄する際は、お住まいの地域の「充電電池内蔵機器」の廃棄ルールに従って処分してください



防水性能について

本機は、イヤホンやマイクをしっかりと接続した状態で IEC 国際規格 IP68 相当（防塵等級 6^{*}、防水等級 8^{**}）の防塵、防水性能を有しています。この性能を永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。イヤホンやマイク本体は防水ではありません

- ※ 1 : 粉塵が内部に侵入しない
- ※ 2 : 水深 1.5m に 30 分間没しても有害な影響を受けないこと

正しくご使用いただくために

- マイク感度や防水性能が低下しますので、マイク部分を「触ったり」「ぶつかけたり」しないでください
- 本機にタイピンマイクやイヤホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください
- 当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります
- 当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません
- 電波法により、トランシーバーを分解・改造することは禁じられています
- 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください

その他

- ご利用にあたって
- 本体底面に貼り付けてある「証明ラベル」を剥がしたり、「分解」や「改造」を行うことは、法律で禁止されています
- 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります
- 免責事項
- 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません
- 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません

定格

送受信周波数 : 交互通話（単信）422MHz 帯（20ch）（12.5kHz ステップ）
中継通話（半復信）421MHz 帯 / 440MHz 帯（27ch）（12.5kHz ステップ）

電波型式 : F3E、F2D

通信方式 : 単信方式および半復信方式

送信出力 : 10mW 以下 / 1mW 以下

受信感度 : -15dB μ V 以下（@ 12dB SINAD）

低周波出力 : 50mW 以上（@32 Ω 、ボリューム最大時）

動作温度範囲 : -10℃ ~ +50℃

定格電圧 : DC 3.6V（内蔵リチウムイオンバッテリー）

使用可能時間 : 約 17 時間（ヤエスコネクタ使用時）約 21 時間（ノーマルモード時）
※ 送信 6、受信 6、待受け 48 の割合による運用時

寸法 : 約 40 (幅) × 55 (高さ) × 20 (厚み) mm（アンテナおよび突起部を含みます）

重量 : 約 50g

防塵・防水 : IP68

RoHS 指令準拠

この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります